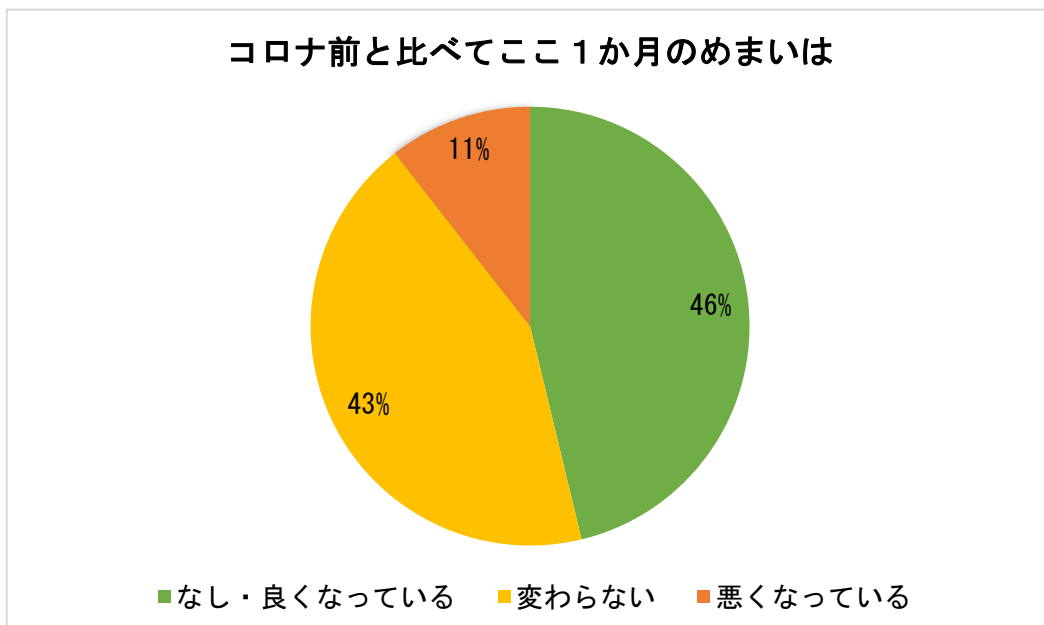
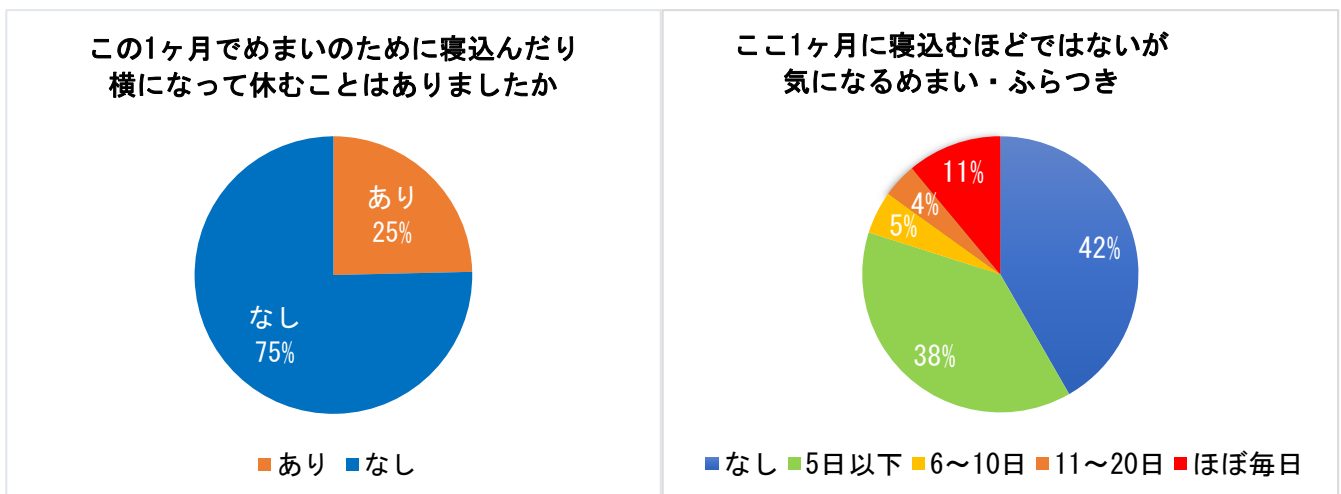


【新型コロナウイルス感染対策による生活変化がめまいの自覚症状に及ぼす影響の調査

(アンケート方式)：目白大学医学系研究倫理審査 承認番号：20 医-010】

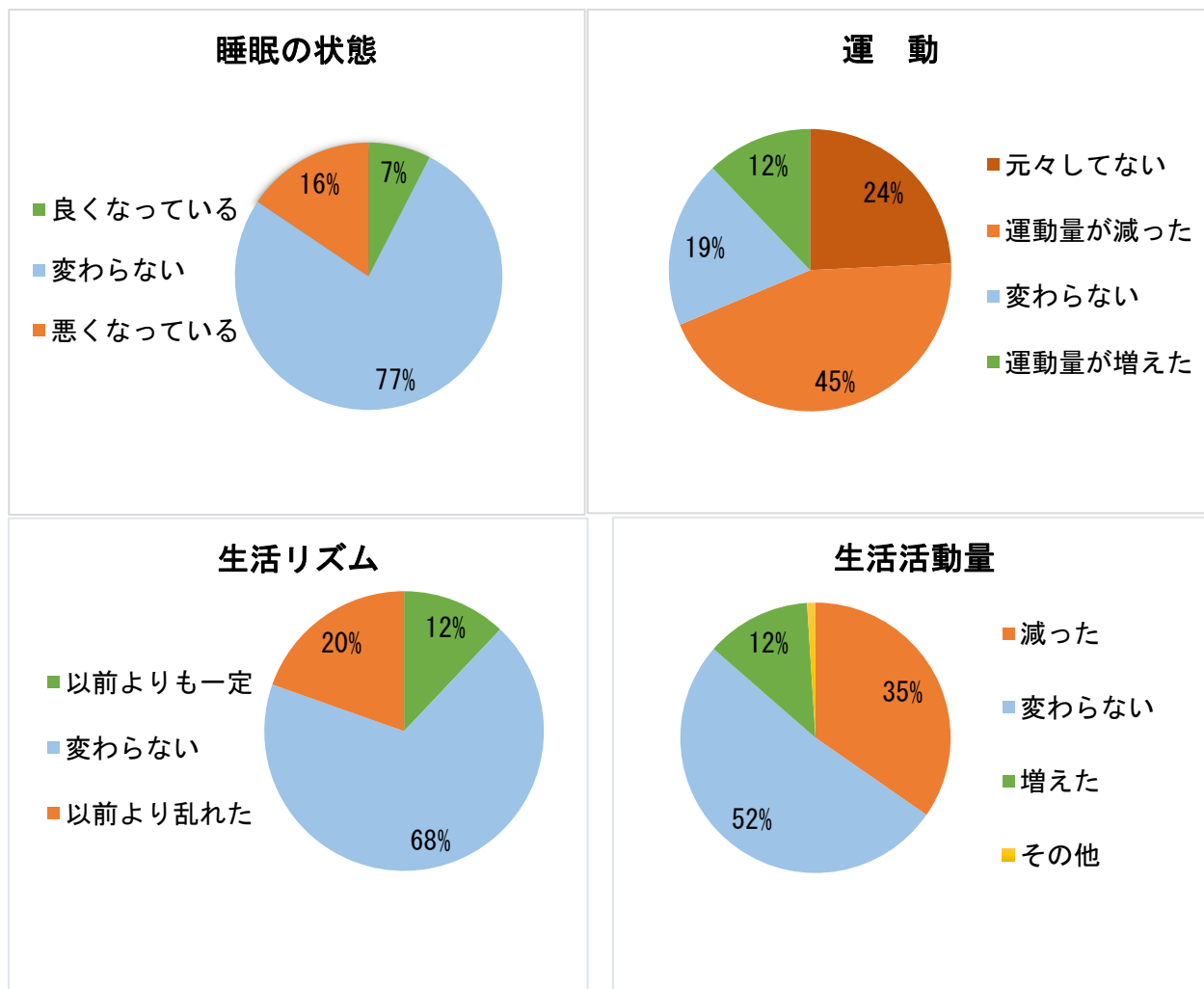
の御礼と集計速報

6 月半ばに郵送しました標記のアンケートに多くの方から回答を頂きました(7 月 15 日現在 212 通)。誠にありがとうございます。アンケート結果は 10 月の日本めまい平衡医学会学術講演会や当 HP でご報告いたしますが、速報をお伝えします。



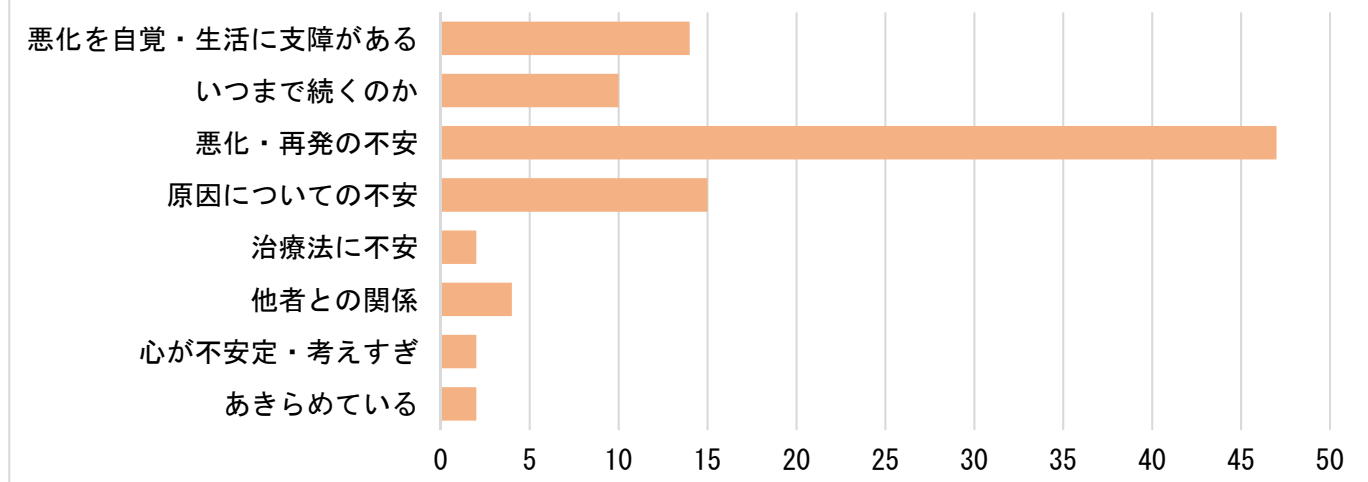
回答頂いた方のうちめまいの症状が改善している方が46%でした。

新型コロナ感染拡大前の生活とアンケートを採った6月頃の日常生活の変化を伺いました。



睡眠の状態や生活リズムはだいたいの方が以前と変わりなしと回答していましたが、運動量は減少した方が多くなっています。生活リズムが乱れたり睡眠が悪くなったと自覚されている方もいらっしゃいました。

めまいやふらつきについて心配なことはありますか



「めまいやふらつきについて心配なことはありますか」について 83 名の方が記載して下さいました。「めまいが悪化するのではないか」「再発するのではないか」が最も多く（47 名）、めまいが継続している方の 36%、めまいが改善している方でも 16%が悪化・再発の不安があると回答していました。めまいの対処の方法がわからない、自分のめまいが他者からはわからず（咳や熱などのように他の人からわかる症状でない）つらいという意見もありました。

皆様の心配や不安が解消・軽減できるような情報を HP で発信していきたいと考えております。

（耳より小話へ）